

家公より械役二枚御免許の御墨付戴きあり。此者先祖は、下野國高木の城主細木家直といひし人、申の阿曾良といふ所に來りありしに、又此所に移つて曾良と名づけ、子孫榮えて今一村となれりといへり。」と記する。

ソリジ 尊利地 鳳至郡南志見郷に屬する部落。

ソリソリバシ そり／＼橋 能美郡串から村松に至る間、柴山湯の水が今江湯に通ずる串川に架する。橋上から漁夫が網を下し、他の一人之を監視して、鱈の中に入る時そりそりと合圖して引揚げしめるが故に名づけるといふ。そり／＼はそれ／＼の訛である。

ソレン 祖聯 ↓ホウガンソレン 芳巖祖聯。

ソロバンタマ 算盤玉 能美郡松岡・河北郡醫王山に産する。玉髓の一種で、形狀の似たるを以て名づける。石英粗面岩中に在る放射織維狀鱈物の收縮によりて生じた球石で、母岩の分解により、分離して土中に埋没したものである。

ソワ 楚和 羽咋郡稗造庄に屬する部落。

ソワジバナ そわじ鼻 鹿島郡能登島の祖母浦部落から西南に當る岬。

ソニエ 尊依 江沼郡那谷なる明王院の僧。明王院日記に、天文二十年二月尊依が左衛門少尉光任と贈答した歌があり、永祿二年九月廿四日尊依の遷化した時、光任が追悼の歌を作り、又百韻の連歌を興行したとある。

ソンドワヘエ 尊田和兵衛 寶永六年御歩となり、享保五年小頭に進み、十一年三十石を加へて組外に列し、預立院御用人を勤め、次いで料紙奉行・町同心に歴任して、延享三

年六十三歳を以て歿。孫岩次郎に至つて早世斷絶した。

ソニチヨウ 尊澄 嘉祿二年四月十八日、澄辨の後を襲いで白山七社惣長吏職に補せられたことが、白山宮莊嚴講中記録にある。

ソニニヨ 存如 本願寺七代。諱は圓兼。前任巧如の長子である。巧如永享十二年を以て遷化し、存如四十五歳でその後を襲いだ。本願寺主にして布教の爲加賀に入つたものは、この存如を以て最初とする。その事は蓮如の文明五年十二月十九日附で、江沼郡なる获生・福田の同行に與へた帖外御文に、『抑先年前任在國の時の教化によりて、まづ获生・福田の面々は秘事をもて本とせるころはうせたりといへども、いまだ當流の眞實の法義にはもとづかざるやうに見えたり。』とあるに因つてわかる。前任は存如で、获生・福田の人々に對して在國といふは、加賀を指すからである。

ソニニシヨウニヒヨウシヨ 存如上人 廟所 明治十四年金澤城内二ノ丸の舊殿閣が焼亡した際、その庭園に在つて古來新五郎塚と稱する地から枯骨を得た。然るに西本願寺別院は之を讓受け、翌年西町神護寺の建物を除いた跡に佛宇を起し、かの白骨を奉じて之を存知上人廟所と稱した。新五郎塚を存如のものとするのは、何等の據がない。

ソニバキヨウチウシユウ 蒔坂箇中詩集 一冊。蒔坂林瑜の詩集である。嘉永六年の刊行。

ソニベラマツリ ぞんべら祭 鳳至郡鬼屋の春季祭は陰曆一月に行はれ、之をぞんべら祭といふ。神職の献膳を終つた時、參詣者

一同拜殿に輪を作つて座し、その中央を田地に擬し、男子は耕作の狀を試み、ぞんべらぞんべらの掛聲で畦畔を塗つたりし、次に女子が松葉を採つて田植の眞似事もやるものであつた。

ソニボ 尊保 羽咋郡稗造庄に屬する部落。

ソニボガハ 尊保川 羽咋郡尊保領ふけの谷から出で、同領で富來川に落合ふ。流程四軒許。

ソニボヤマダ 尊保山田 羽咋郡尊保の内小字。

ソニメイユライシヨ 村名由來書 ↓ゴウソニメイギシヨウ 郷村名義抄。

ソニリジ 尊利地 ↓ソリジ 尊利地。

ソニリユウジ 存立寺 羽咋郡米濱に在つて、眞宗東派に屬する。

ソニリヨウ 存亮 ↓ロジユウソニリヨウ 魯亮存亮。

タ田 鳳至郡備比庄に屬する部落。 明應六年十月廿二日附吉見統範の總持寺に對する寄進狀に、『能州備比庄武ヶ村田村之内田地事』とある田村はこれである。
タイアンエイコウ 泰安永康 曹洞宗の僧。能登の人、幼時出家して諸方に遊學し、次いで季雲永嶽の室に投じて嗣法し、總持寺に出世し、後武藏波寄に退き、實持寺を創立した。
ダイアンジ 大安寺 鱈川親元日記文明十年七月十四日の條に、『加州大安寺村』より卷

數並蠟燭冊挺まいる。御返事以杉江、。聽松院殿(伊勢貞親)御時より御祈願寺也。森島分内にて少分有御寄進下地云々。』とて、幕府に進獻したことを載せる。大口村は能美郡山上郷、森島は石川郡山島郷であるが、大安寺は今存せぬ。

ダイアンジ 大安寺 ↓ギダジ 祇陀寺。

ダイイチイコウ 太一遺稿 一冊。大聖寺藩主前田利章の二男中務信成の遺稿で、卷初に志則三十餘條、學範五條を載せ、次に書牘雜文七編を録してある。文政八年藩主利之が、信成の子信片及び孫信任をして上梓せしめたもので、太一は信成の院號である。

タイウンイン 泰雲院 加賀藩主第十代前田重教の法號。詳しくは泰雲院仁山彭壽大居士。
タイウンコウネン 泰雲公年譜 一冊。著者不詳、前田重教が寛保元年十月誕生してから、明和八年十月養老するまでの略年譜である。また八冊のものは、嘉永五年森田良郷の著で、前田重教の誕生から寶曆四年繼嗣までを略記し、爾後明和八年養老までの領内の諸事件を詳述してある。

ダイウンジ 大運寺 珠洲郡飯田に在つて、淨土宗に屬する。開基天譽壹傳は、貞享元年六月十七日示寂。能登名跡志に、『淨土宗大運寺とてあり。本尊丈六の阿彌陀如來也。作佛の由。』と記する。

ダイエイシンシヨ 大永神書 一卷。白山比咩神社藏。本書はその巻首を缺くが、要するに白山の神靈が童子を通じて託宣し給うたことを國文で綴り、その奥書を加へた後、更に白山七社・六所王子・九所小神等の次第を載

夕